



## 暑熱対策で家畜の生産性を維持・向上させましょう！

6月以降、高温・多湿の日が続くことが予想されています。

家畜にとっても、夏は厳しい季節。鶏🐔は、汗腺がなく、羽毛で熱がこもりやすいです。豚🐷は、汗腺が発達しておらず、体脂肪が多く熱を蓄えやすいです。牛🐮は、第一胃の発酵熱がこもりやすく、いずれも暑さに弱いです。

気温が高くなると、ストレスがかかり、採食量が低下し、受胎率や乳量・増体率・産卵率の低下などを引き起こします。

適切な暑熱対策で、家畜が健康で快適に夏を過ごせる環境を作りましょう。

### ★暑熱対策の取り組み例★

#### 直射日光のカット

- ・寒冷紗、カーテン、よしず、緑のカーテンの設置

#### 輻射熱のカット

- ・屋根への断熱塗料、石灰の塗布
- ・断熱材の設置

#### その他の熱のカット

- ・散水、植樹 → 反射熱減
- ・こまめな除糞（鶏） → 発酵熱減
- ・水樋に水を掛け流す（鶏）

#### 畜体を冷やす

- ・風や水を当てる
- ・毛刈り（牛）
- ・ドリップクーリング（豚）

#### 畜舎温度の上昇を防ぐ

- ・畜舎の換気、送風
- ・ミストの活用
- ・密飼いを避ける

#### 飼料給与等の工夫

- ・涼しい時間帯の飼料給与
- ・良質で高消化率の飼料の活用
- ・ビタミン、ミネラル等の補給
- ・冷水が十分に飲めるようにする

畜産農家の皆様も、水分・塩分の補給や、涼しい場所での休憩など、熱中症予防対策を心がけてください。早めの対策で、暑い夏を乗り切りましょう！

神奈川県県央家畜保健衛生所

〒243-0417 海老名市本郷3658

電話：(046)238-9111 ファックス：(046)238-9124

東部出張所

〒226-0015 横浜市緑区三保町2076

電話：(045)934-2378 ファックス：(045)934-5432

家保 HP

